

- **スリップ、追突、バック、交差点**
- **荷台からの転落、挟まれ**
- **荷物破損事故(登坂板からの落下、荷締め不完全)**

- **停止するときは、早めに減速し、車間1台分をあげる(スリップ時の追突防止)**
- **狭い道でのすれ違い時は、車両停止の徹底(無理して先に進まない)**

雪山で見えにくい時は…身乗り出して確認！ 雪山の陰からの飛び出し注意！

気を付けないと…落ちるぞ！ すべるぞ！ ぶつかるぞ！

冬道での追い越しは事故に直結！ 危険な追い越し 生命の危険！

路面状況の変化に注意 日中に雪解けが進み、夜間凍結

交差点手前、滑って交差点内で衝突！ 注意

車間距離を十分にとろう！ 追突を未然に防止しよう

2時間ごとに、15分休憩で 守ろう！ 自分の命 他人の命

- **積み下ろし作業中の、荷台からの墜落・転落に注意しましょう**
- **鋼材、資材の積み下ろし作業中の、手・指・足のはさまれ事故に注意しましょう**
- **ハウス、トイレの積み下ろし作業時の、脚立・屋根からの転落に注意しましょう**
- **敷き鉄板の積み下ろし作業時、ユニック作業に注意しましょう**

「構内」事故の防止 (バック事故多発…後方の安全確認)

スマホ「ながら運転」厳罰化へ

事故なくとも、「6月以下の懲役または10万円以下の罰金」

2018.1.14

携帯電話などを注視・操作しながら車を運転する危険行為に対し、政府が道路交通法改正で罰則を強化する方針であることが13日、分かった。改正法案は、携帯電話などを操作して交通の危険を生じさせた場合の罰則について、現状の「3月以下の懲役または5万円以下の罰金」から「1年以下の懲役または30万円以下の罰金」に引き上げる。また、軽微な交通違反を犯した際に、反則金を納付すれば刑事訴追されない交通反則通告制度の対象から除外する。さらに、直接交通の危険を生じない場合でも、現状の「5万円以下の罰金」から「6月以下の懲役または10万円以下の罰金」に厳罰化する方向だ。政府が「ながら運転」の厳罰化に乗り出したのは、スマートフォンの普及に伴い、メールやゲームなどの画面に目をやりつつ運転することで起きる事故が、大きく増加しているためだ。

交差点 脇見運転をしていた

タンクローリーにはねられ、横断歩道の男性死亡

2018/1/13 18:29

13日午前7時半ごろ、愛知県の交差点で、横断歩道を歩いていた会社員の男性(68)が、タンクローリーにはねられ、死亡した。警察はタンクローリーを運転していたトラック運転手の男性容疑者(25)を、過失運転致死の疑いで現行犯逮捕した。警察は、容疑者が脇見運転をしていた可能性が高いとみて調べている。

凍結路面 事故現場に向かっていたパトカーがスリップ、はみ出し、衝突

2018年01月13日 16時28分

13日午前9時ごろ、新潟県の北陸自動車道で、事故現場に向かっていたパトカーが、凍結路面でスリップして車線をはみ出したため、後ろから走ってきた軽乗用車がよけきれずに衝突し、軽乗用車を運転していた男性が手に軽いケガをしました。交通警察隊の副隊長は、「隊員に指導を徹底し再発防止に努めたい」と話しています

午後5時 車にはねられ5歳の男の子死亡

1人でアイスクリームを買いに行く途中

2018/1/14(日) 7:06

13日午後5時すぎ、兵庫県の信号のない横断歩道を渡っていた5歳の男の子が乗用車にはねられ死亡しました。警察は車を運転していた女性(66)を現行犯逮捕しました。調べに対し容疑者は「子どもをはねたことに間違いありません」と話しているということです。

交差点 受験生乗るバスが…信号待ち車に追突

2018年01月15日

14日午前8時頃、岐阜県の県道交差点で、路線バスが、信号待ちで止まっていたパート女性(59)の軽乗用車に追突した。バスには大学入試センター試験の受験生11人が乗っていたが、約30分後、代替バスに乗り換えて試験会場の高校に向かった。同校で試験を実施している岐阜大学によると、遅刻した受験生はいなかった。